

奄美～鹿児島/喜界島/徳之島
就航60周年を迎えました！

2024年7月1日に奄美～鹿児島・奄美～喜界島・奄美～徳之島航路が、就航60周年を迎えました。

1964年、(当時)東亜航空が旧奄美空港(現在の奄美パーク周辺)を拠点に各路線の運航を開始し、JACは設立(1983年)と同時に、奄美群島路線を引継ぎ形で、あゆみ出しました。



ドルニエ228型機(旧奄美空港にて)

皆さま、いつもJAC路線をご利用頂きありがとうございます。この3路線が60年もの間、皆さまのご移動のお役に立ててきたことを大変光栄に思います。

この間、路線維持のために奄美群島の全市町村に出資頂き、(当時)東亜国内航空との共同でJACが設立され、使用航空機も64人乗りから19人、36人、74人と時代に即して姿を変え、現在は48人と70人乗りの低燃費エコプロップのATR型機が就航しています。

そして持続可能な社会作りの重要性が増してきている現代において、私たちは、自然との共生により育まれてきた暮らしや文化が残る奄美群島の魅力を、ご地元と一緒に守りながら適切に活用していくことで、地域を結び懸け橋になりたいと思っています。これからも一層のご愛顧をよろしくお願い致します。



日本エアコミューター株式会社
日本航空株式会社 奄美営業所 所長 栄 正行

但馬空港より皆さまへ

今回は但馬空港所の紹介をさせていただきます。但馬空港は兵庫県豊岡市にあり、愛称は「コウノトリ但馬空港」。国の特別天然記念物で、県鳥でもあるコウノトリを愛称に取り入れています。1994年5月18日に開港し今年で30周年を迎えました。開港当初「JACのたじま空港」と聞いて離島だと思われ、フェリーの問い合わせをされた方もいらしたようですが、兵庫県北部の日本海に面した但馬地域になります。

但馬空港は標高約178mの高所に位置し、豊岡盆地と流れの緩やかな円山川が流れ、秋には霧の発生も多く、雲海の竹田城跡も有名です。日本海にも近く関西では有名な城崎温泉あり、また冬は雪も多い地域で山間部にはスキー場もあります。四季折々の自然豊かな地域です。

空港ターミナルビルもコンパクトで飛行機までの距離も近く、飛行機を近く感じられます。搭乗手続き開始から出発までの短い時間の中で、お客さまとのふれあいを大切にしながらこれからも親しみを持っていただける空港となるよう努めて参ります。

最後に右の写真は空港スタッフが撮影した竹田城・雲海の写真です。秋から冬にかけて見られる神秘的な景色です。タイミングが合えば撮影できるかも！



竹田城跡

また今年10月に予定されているイベントは開港30周年の節目にもなります。ぜひ但馬空港へお越しください。お待ちしております！



JAL但馬空港所 スタッフ一同

どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

2024夏(サゴソウ)
Vol.28

JAC NOW
～ゆいタイム～



クイズ：この鳥のお名前はなにか？

(こたえは裏面へ)

ご搭乗の皆さまへ

本日は日本エアコミューター (JAC) をご利用いただき誠にありがとうございます。現在、皆さまがご搭乗されているATR機がどのような経緯を経て日本に到着したのかをご紹介します。ATR機はフランス南西部のトゥールーズで製造されています。航空機の引き渡し時には、JACの運航乗務員、整備士、地上スタッフが1つのチームとなりトゥールーズに向かい、エンジンの試運転や飛行試験などさまざまな検査を実施します。これらの検査を通じて、航空機が万全な状態であることを確認した上で、JACの航空機として受領します。ただし、この時点では航空機はまだフランス国籍にあります。フランスからギリシャ、サウジアラビア、オマーン、インド、タイ、フィリピンなどを経由して鹿児島に到着します。ここで通関検査を受け入国し、事業機登録を完了させ、ようやく日本国籍を得ることができます。

このように多くの手順を経てJACに加わった航空機には社員一同、深い愛着を抱いております。そして、多くのお客さまにも愛される航空機となることを心から願っております。またのご搭乗を社員一同心よりお待ちしております。

日本エアコミューター株式会社
執行役員 経営企画部門長 笠松 薫



読者アンケートのご案内！

機内誌「ゆいタイム」の読者アンケートにご協力をお願いします。QRコードからアクセス可能です。→



バックナンバーは、JACのホームページでご覧いただけます。
(http://www.jac.co.jp/magazines/)



この紙は国産産材100%を原料に鹿児島県薩摩川内市で作られる「竹紙」を使用しています。木を切らず竹から紙を作る取り組みは、環境と森を守り、直山や生物多様性の保全、地域経済に貢献しています。



奄美×しまぶる(水が青く透き通っていて綺麗な様子)を表しており、奄美の魅力を伝えるだけでなく、SDGs目標達成に繋がるアクションを行うという意味が込められています。

2021年7月に徳之島は奄美大島、沖縄島、西表島と共に**世界自然遺産**に登録されました！徳之島は歴史上上海に沈んだことがなく、古代の生態系が維持され、貴重な生き物が多く暮らしています。その生物多様性が評価され登録に繋がりました。島固有の生き物や島ならではの景色を永く楽しむために、私たちに「**持続的に保護していく責任**」があります！ぜひ下記のクイズに挑戦して島を守る準備をしましょう！

島クイズ

1. 世界遺産エリアに入る前にはブラシで靴の裏を水で洗うことが義務付けられています。その理由は何でしょう？

- A 外来種の侵入を防ぐため
- B 自分の匂いを持ち込まないため
- C 足を滑らせないようにするため

2. 5月上旬から7月下旬には海岸に棒が設置されます。この棒は何のために設置されているのでしょうか？

- A ヤドカリの巣を保護するため
- B 地質検査を行っているから
- C ウミガメの卵の保護をするため

答え

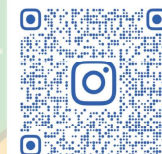
1, A

徳之島は、島にしか生息していない**希少種**の存在が評価されています。それらが外来種によって生体数を減らしたり、種類が変化することを防ぐため遺産エリアに入る際は**靴の洗浄**を行い、**外来種を持ち込まないようにしましょう！**

2, C

ウミガメは5～7月に海岸に上陸して砂浜で卵を産みます。棒の設置は、その場所に**ウミガメの卵があることを示しており、人の侵入から守っています**。目印を見かけた際は、立ち入らないように注意しましょう！

私たちは、桜美林大学BM学群尾川ゼミに所属する7人組です！「自然豊かで魅力溢れる徳之島の観光資源を永く維持したい」という思いから、2021年から活動を続けてきました。アマミノクロウサギや珊瑚礁からなる真っ白な砂浜など徳之島が誇る豊かな自然を永く守っていくためには、一人ひとりの意識が大切だと活動を通して再認識しました。この機内誌を通して皆さんが自然保護に繋がる行動を起こしていただくと嬉しいです♡



Instagram : amablue_plus
amablue.plus@gmail.com

“就航60年記念” JAC特別展示を開催中です!!

奄美空港3階送迎デッキ前のエントランススペースにおいて、就航60周年を記念した特別展示を実施しております。奄美で生まれたJACの歴史が分かるアーカイブ資料を展示しておりますので、ぜひお立ち寄りください。



お知らせ

JAC NOW～ゆいタイム～では就航地の企業・団体さまを対象に広告掲載を行っています！広告のご出稿につきましてはお気軽にお問い合わせください。(お問い合わせ先: yui.time@jal.com)

※オプションにてマンガでの広告掲載(Sponsor MANGA)もご相談可能です。なおマンガでの広告掲載の場合は、制作に3か月程度必要となります。

～表紙クイズの答え～

正解は「コウノトリ」です。漢字では「鶴」と書きます。



日本エアコミューター (JAC) の5号機には、就航地のひとつである「コウノトリ但馬空港」のある兵庫県豊岡市で有名なコウノトリのデザインが描かれています。豊岡市は、日本最後の野生コウノトリの生息地でした。絶滅以前からコウノトリの保護増殖を目指し、兵庫県と豊岡市が一体となって取り組みを進め、取り組みから24年目の1989年、ついに豊岡で飼育コウノトリのヒナが誕生しました。その後も野外繁殖が成功するなど、今では、300羽を超える野外コウノトリが日本の空を羽ばたいています！

JAC公式InstagramでもJAC就航地やATRの魅力などを発信中です。ぜひ、お気軽に遊びにきてくださいね！





大口酒造
伊佐焼酎物語
Vol.2

2004年
伊佐市の居酒屋

